

豆田町並み通信

第47号

発行者
豆田町伝
建保存会
25年1月

花月川改修計画を話し合う！

十二月二十日（木）、桂林公民館で洪水後の花月川河川工事に対する豆田地区振興協議会（十四町）との説明会が開催されました。

国土交通省の筑後川河川事務所の説明では、藤山町の小野川との合流点から三隈川合流点までの八・七kmについて①迅速に復旧する事を目的にした災害復旧事業を二カ年で二十億円、②河川改良により再度の災害防止を図るための激甚災害対策特別緊急事業を五カ年で九十一億円の費用をかけて復旧を行なうとの事でした。



花月川の図面を指し示し説明を受ける

特に豆田地区に関連する事業では①として城町橋下流の丸山町側の護岸工事及び対岸の土砂撤去。崩壊した散歩道路の復旧があげられ、②としては夕田橋の架け替え、河床を掘削し流量断面を確保する工事を行う事が報告されました。

自治会長側からは、「豆田側では一部堤防を越えて濁流が流れてきたが今回の工事で大丈夫か」「丸山町側の浸水はこの工事だけでは防ぎきれないので」などの質問が出されました。

筑後川工事事務所からは、「昭和四十七年のピーク時の花月川の水位は三・六八mだったが、今回のピーク時の水位は四・三七mに達した。流量断面を増やし水位を下げる事で浸水を極力減らしてゆきたい。また堤防整備は再調査をしながらオーバーフローがないようにしたい」と答えました。

豆田地区振興協議会では工事の状況しだいでは再度説明を求めて行きたいと話していました。

全国町並みゼミ 福岡大会に参加

十二月一日（土）福津市津屋崎で「空家対策」をテーマに開かれた全国町並みゼミの分科会に、豆田町伝建保存会のメンバー十六名が参加しました。

町並み視察では、福津市が平成二十一年ふるさと雇用再生特別基金を活用した空家対策で、住民団体「津屋崎ランチ」が運営する古民家を視察しました。

この古民家は寄付金を募り改築し、ゲストハウスとして活用しているとのことでした。

分科会では、兵庫県たつの市や倉敷市や八女市の空家の保存や利活用現状報告がなされ、豆田でも今後増えるであろう空家対策を真剣に話し合いました。

生く再建の
家を聞建の
古話豆田の
の話を伝建の
豆田のメンバ



空家対策を話し合った分科会。全国から百名が参加



旧中村家・第二回 発掘調査現地説明会開催

十二月九日（日）、旧古賀医院の曳き移転に伴う第二回目の発掘調査の現地説明会が地元住民四十名が参加して行なわれました。

説明を行なった日田市文化財保護課の若杉主査によると、江戸時代町年寄や掛屋で使用されていた一つ巴の軒先瓦が出土した事で中村家が町の有力者であった事が判明したとのことでした。

又昨年の発掘で確認された三号建物の基礎となる玉石の続きが検出され、規模は南北方向四間（約八m）東西方向では南側が二間半（約五m）北側が三間（約六m）あった事などの説明がありました。参加者は江戸時代町年寄であった中村家の状況を思い浮かべながら、説明に聞き入っていました。



みぞれの中、説明に聞き入る参加者

屋外広告物に関するアンケート結果まとめ！

平成二十四年の十月度に伝建地区内の二百四十世帯（出店者も含む）を対象にアンケート調査を行った結果、半数の百十九件から回答を得ました。

豆田町伝建保存会ではこの結果を元に、屋外広告物条例を指導している大分県や日田市とも協議し、豆田に相応しい屋外広告物の在り様を追求してゆきたいと語っています。

回答した年齢区分		伝建地区内の看板の印象		伝建地区内の看板規制への賛否	
39歳未満	1	町並みに合っている	17	賛成	82
40歳～59歳	39	町並みに合っていない	49	反対	27
60歳～69歳	38	分らない	46	回答なし	10
70歳以上	37	回答なし	7		
回答なし	4				

賛成と回答された方に規制の内容は(複数回答)		反対と回答された方に規制に反対の理由は(複数回答)		広告物に対しては大分県の条例や日田市の保存計画があることは？	
看板の色彩	54	広告・宣伝の為必要	15	知っている	62
看板の材質	47	自由な経済活動の為	14	知らない	49
看板の大きさ	39	町のにぎわいの為	10	その他	5
看板の形状	25	その他	7	回答なし	3
その他	10	回答なし	9		
回答なし	10				

家の形態では、商店は55件、大家4件、非商店37件、回答なし23件です。尚、屋外広告物に対する具体的意見では51名から意見を頂きました。

景気回復・災害復興を願って十日恵比須まつり開催！

一月十日（木）、商売繁盛や家内安全を祈って十日恵比須行事が豆田の三地区で行なわれました。

豆田地区では昨年七月の豪雨災害からの復興が大きなテーマになっており、みゆき通り商店街主催で行われた八阪神社の「恵比須祭」には、福笹に小野川で豪雨災害にも負けず育った笹を使った「根性福笹」であることが紹介されると、参拝者はそのご利益にあやかりたいと福笹を求めていました。

また、丸山町の財津家横の恵比須様でも恵比須神事が行なわれ、丸山町は豪雨被害が特に酷かった事から、住民の皆さんは地域の安全無事を祈っていました。



豆田八阪神社境内で行なわれた神事

また三本松本通り商店街主催の恵比須祭りでは、福笹一本を購入すると抽選券二枚進呈の抽選会が行われ、恵比須酒などが当たるたびにお祝の鐘が鳴りひびいていました。

なお、みゆき商店街では千二百本の福笹が、三本松本通り商店街では千本の福笹が用意されたとの事です。



抽選会でのぎわった三本松の恵比須祭



地域の安全無事を祈った丸山恵比須祭